

校 園 名：筑波大学附属中学校

所在地：〒112-0012 東京都文京区大塚1-9-1

電話番号：03-3945-3231

記載日：2016年5月4日 記載者：小山 浩

記載者役職：副校長

貴校の校風、おおまかな特色について：

本校の校訓「強く正しく朗らかに」は、素敵な校訓です。卒業生でもある元校長が、英国 Gentleman の精神性のあり方に通じるものがあると看破していました。古くを繙くと、本学（筑波大学）の源流は高等師範学校、東京高等師範学校にあります。この創始者は嘉納治五郎であり、その教えの中に「自他共栄」「精力善用」があります。自分のみが栄えることを考えるのではなく、日本の、さらには世界中の国々と共に発展せよとの「自他共栄」の教え。自分の持てる能力を、善きことのために使えよとの「精力善用」の教え。また後者は、フランスの「社会的地位にある者は、その保持には責任が伴う」との社会貢献を意識すべきとのノブレス・オブリージュにも通じます。本校の校訓には、こうした考えが根底にあり、脈々と受け継がれています。

この校訓に恥じることのないように、精神性を高く保ち、全力疾走していきたいと思っています。

貴校の卒業生の活躍状況について：

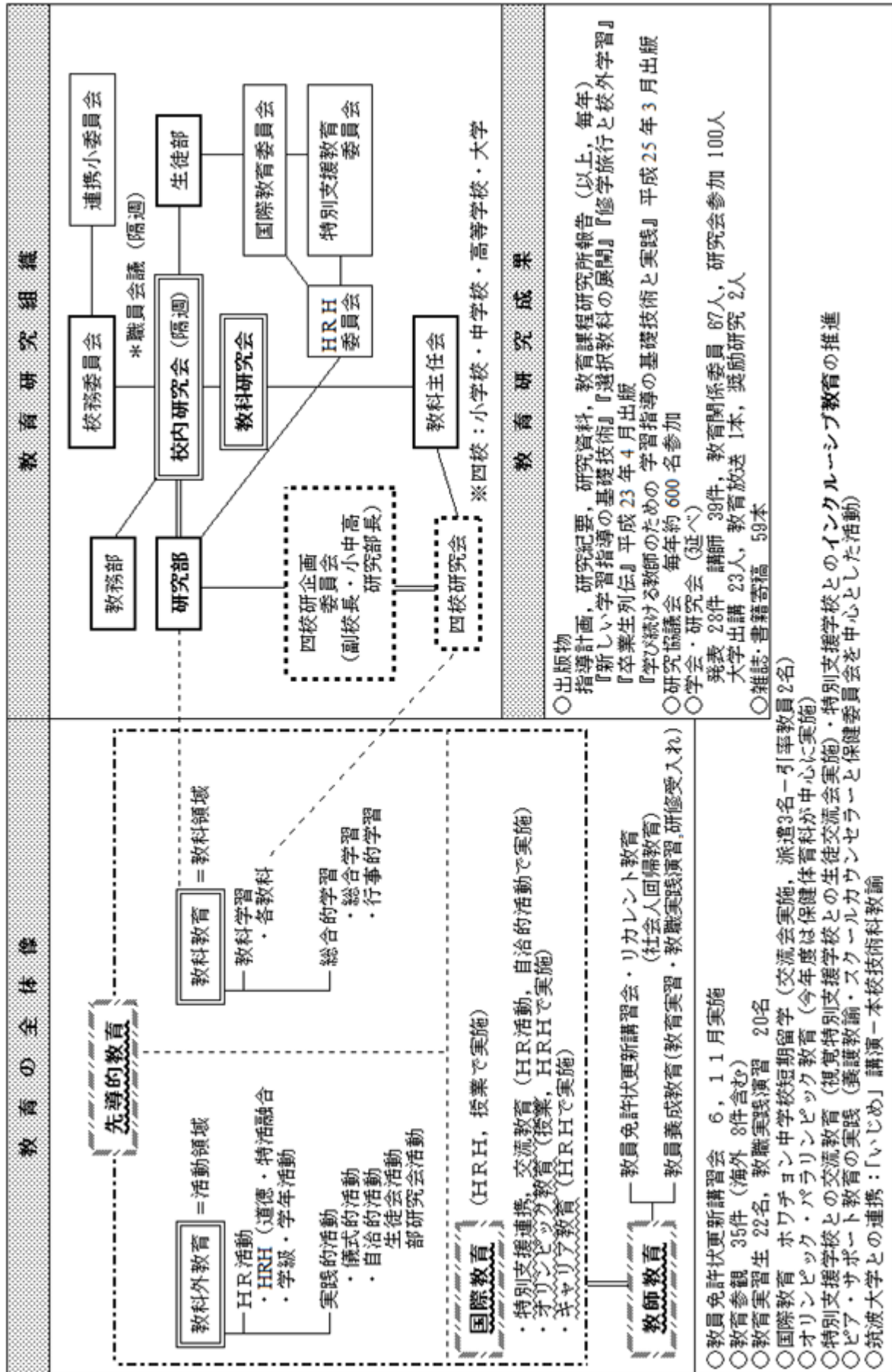
- ① 卒業生名簿を数年に一度作成し、進学、就職先の情報を定期的に自由意思で提出していただく。
- ② 約80%。同窓会が管理し、名簿を各学校、必要に応じて同窓生に購入していただいている。
- ③ 鳩山一郎元内閣総理大臣、美濃部亮吉元東京都知事、越智通雄元衆議院議員経済企画長官、藤井裕久元衆議院議員財務大臣、川口順子参議院議員元外務大臣、秋葉忠利元広島市長元衆議院議員他
杉村陽太郎元駐イタリア・フランス大使 1940年初の東京オリンピック招致元IOC委員、小倉和夫元駐フランス大使 2020東京オリンピック招致委員、西山英彦元経済産業省大臣官房付福島原発事故担当 他
波多野精一（宗教哲学者）、藤田嗣治（画家）、永井荷風（作家）、吉野源三郎（児童文学者）、星 新一（作家）、今村昌平（映画監督）、児玉 進（映画監督）、芥川比呂志（俳優）、檀 ふみ（俳優）、野村萬斎（狂言師）、嘉納行光（元講道館館長）、岩崎洋三メルボルンオリンピックボート日本代表 他
岩崎小弥太（元三菱総帥）、正田英三郎（元日清製粉名誉会長）、永井道雄（元文部大臣） 他

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

- ① 教員OB組織を立ち上げ、定期的に会合、会報を発行している。
- ② ほぼ100%。本校（筑波大学附属中学校）
- ③ 歴任教員一覧表を作成している。
- ④ 歴代の名物教員：石 三次郎（学校長教育学者）、諸橋轍次（漢学）、鎌田 正（漢学）、外山滋比古（英語）、山本幸雄（社会）、廣井家太（体育）、吉岡隆徳（体育、暁の超特急）、田村虎造（音楽・童謡作曲家）、棚橋源太郎（理科）、佐藤良一郎（数学）他。

魅力のある、特色のある、または今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

筑波大学附属中学校の教育研究と成果



PTAによるボランティア活動

1 グリーンボランティア

国立大学附属学校として、様々な改革に取り組んでいますが、財政逼迫の折、校内の様々な用務を後援会やPTAの補助を必要とする状況となっています。そして保護者相互の交流の場ともなるよう勘案し、環境整備や美化活動をグリーンボランティア活動として保護者の方にお願ひしています。多くの方々にご尽力いただいているこの活動は、数年前「全国国立大学附属学校の優良PTA」として表彰されました。また、年に2～3回程度（土曜日）の力仕事を中心とした環境整備をお手伝いいただく「父親ボランティア」も併せて実施しています。連絡方法としてE-mailアドレスを知らせていただき、必要に応じて連絡をとり、都合のつく方にご参加いただく方式としています。

<母親を中心としたグリーンボランティア活動の具体的内容>

作業日 ; 年間(約30回)を通し、毎週金曜日の3・4限(10:20~12:10)(雨天中止)

活動内容 ;

- ①校内(主に生徒の立ち入り禁止区域)の除草を中心とした美化活動と環境整備
- ②花壇の管理(草花の育苗・植栽)と校内の花木・庭木の剪定などの美化活動
- ③学校菜園の管理(野菜・根菜の育成)と校内の環境整備(落ち葉の堆肥化)
- ④その他

道具 : 学校にあるものを使用。

服装 : 軍手、運動靴(長靴)、動きやすい服装、帽子・サンバイザーなど。



2 図書館ボランティア

本校では「調和的な心身の発達と豊かな個性の伸長を図るとともに、民主的社會の一員として人生を主体的に開拓し、人類社會の進展に寄与することができる人間を育成する。」という教育目標に基づいた様々な教育活動が行われ、社會の中で生きて働く力を身につけ、他者とのかかわりの中で主体的に行動できる生徒を育てるべく研究が進められています。その一環として、図書館を利用した「総合学習」や豊かな心を育む「読書」活動や図書委員会の様々な企画も、大いに推進されるべきものと位置付けています。それらの実現にむけ、平成12年度から保護者の方々に「図書館ボランティア」として、本校図書館の諸活動を支えていただいています。

①仕事内容 主に新着本の装丁、パソコン検索、破損修理、書架の整理などの軽作業

②活動場所 司書室・図書室

③活動曜日・時間 *曜日 午前10時~12時

④活動予定

第1期 : 5月中旬から、新着本がなくなるまで

第2期 : 翌年3月頃



地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

文京区の学力向上事業に参画し、全国一斉学力調査結果の区内学校の分析、授業改善事業の講師派遣等を実施しています。また筑波大学の地元茨城県大子町との連携協定に基づき、授業研修会支援などにも取り組んでいます。こうした地域の学力向上、授業力向上支援の一端を担っています。

さらに、福島県いわき市との協力依頼に基づき、主要教科の教員を派遣し、授業改善研修会での講演、実地指導会に参加しています。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

筑波大学の中期計画に基づき、グローバル人材の育成、インクルーシブ教育の在り方について研究を重ねています。グローバル人材の育成については、欧米の代表国アメリカや東南アジアの雄シンガポールへの短期留学を毎年実施しています。アメリカ留学はペンシルバニア州セラズビルの学校へ、ホームステイを利用した10日間の行程、シンガポール留学はHwa Chong Institution校へ、ホームステイをベースにした行程となっています。海外からの受け入れとしては、修学旅行で来日する中国北京のHUIJIA 中学校の見学先となっています。来校時に本校生徒と共に授業を受け、また全校集会で挨拶の交換を行う等、日本人以外との交流を大切にし、生徒のダイバーシティの意識涵養に努めています。さらに、海外からの教育視察団も受け入れ、本校教育の紹介や生徒との交流を行っています。例としては、オリンピックパラリンピック関係で来日するAISTS (IOCが中心となって設立したスポーツマネジメント系大学院) の見学や、講道館主催のプログラムであるイギリス若手柔道選手団の受け入れがあります。来校時に、生徒が英語で日本の文化や伝統スポーツを紹介するといった活動も行っています。



インクルーシブ教育としては、本学附属11校連携による、普通学校と特別支援学校の生徒との相互交流を目的とした黒姫高原共同生活 (-心のバリアフリー交流 in くろひめ-) へ積極的に参加しています。

こうした新しい取り組みにチャレンジしながらも、教科教育の先導的役割も重視しています。毎年開催される研究協議会では、教科教育や教育課程全般について、新しい授業展開等を提案し、全国から来校する教員との研鑽、交流を行っています。また教師教育拠点としても、教育実習実施校であることはもちろん、筑波大学が主催する教員免許状更新講習会の一端を担っており、受講教員からも実施内容に対する高い評価を得ています。